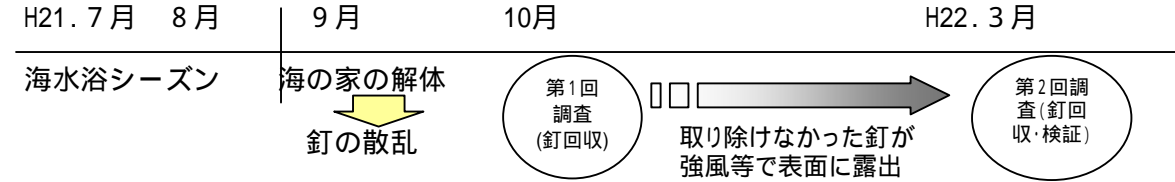


第2回海岸における釘の散乱状況調査の実施結果

1 調査の目的

平成21年9月及び10月に「海岸における釘の散乱状況調査」を実施した結果、砂浜に埋没した釘が数ヶ月後に強風などで砂浜の表面に露出する可能性があることが推測されたため、その検証と釘による危険性の除去を目的として、前回調査と同じ海岸で釘の散乱状況調査を実施した。

<調査の必要性のイメージ>



2 調査方法

調査従事者が釘回収用具（磁石、ザル）により、歩道等から海岸に向かって約40mの間の砂浜において埋もれている釘の回収作業を実施した。

3 釘の回収状況（下段の括弧書きは第1回調査結果である。）

項番	調査日	調査場所	調査時間	作業人数	調査により回収した釘の本数				特記事項			
					新しい釘	構成比	古い釘	構成比				
1	H22.3.24	鎌倉市由比ヶ浜海岸	9:30 ~ 15:00	11	8,738 (219)	366 (68)	4.2% (31.1%)	8,372 (151)	95.8% (68.9%)	冬場の強風で砂が飛ばされ、堅い地表が現れた場所に釘が散乱していた。		
2	H22.3.24	鎌倉市材木座海岸	9:30 ~ 15:00	11	1,287 (880)	64 (580)	5.0% (65.9%)	1,223 (300)	95.0% (34.1%)			
3	H22.3.19	藤沢市片瀬東浜 鎌倉市腰越海岸	9:30 ~ 15:30	20	8,990 (458)	355 (198)	3.9% (43.2%)	8,635 (260)	96.1% (56.8%)	冬場の強風で砂が飛ばされ、堅い地表が現れた場所に釘が散乱していた。 (第1回調査の片瀬東浜では、台風18号により海岸一面に砂が堆積しており、古い釘5本のみを回収)		
					内訳	藤沢市片瀬東浜	8,256 (5)	253 (0)	3.1% (0.0%)		8,003 (5)	96.9% (100.0%)
					鎌倉市腰越海岸	734 (453)	102 (198)	13.9% (43.7%)	632 (255)		86.1% (56.3%)	
4	H22.3.19	藤沢市片瀬西浜	9:30 ~ 15:30	20	201 (554)	0 (140)	0.0% (25.3%)	201 (414)	100.0% (74.7%)			
5	H22.3.19	藤沢市鶴沼海岸	9:30 ~ 15:30	20	49 (61)	0 (5)	0.0% (8.2%)	49 (56)	100.0% (91.8%)			
合 計					19,265 (2,172)	785 (991)	4.1% (45.6%)	18,480 (1,181)	95.9% (54.4%)			

定義 新しい釘：あまり錆がひどくなく、釘の形状をとどめているもの

古い釘：錆により釘がふくれあがるなど、形状が変化しているもの

4 調査結果

5海岸で回収した釘は約19,000本で第1回調査の約9倍の量となり、その大部分が「古い釘」であったことから、砂浜に埋没した釘は数ヶ月後に強風などで砂が飛ばされ砂浜の表面に露出することが確認された。

このことは第1回調査の結果に基づき推測したとおり、台風などにより砂が堆積して釘が埋没すると回収作業は困難であること、その後の強風などで砂が飛ばされ数ヶ月後に釘が表面に露出すると危険性が高まること、解体作業時に釘を砂浜に落とさない工夫と落とす釘の即時回収が重要であることが検証された。

今後は、関係者が上記の回収状況を共有するとともに、第1回調査に基づき考案した取組みを連携・協力しながら強力に実施することが重要である。